

地方公共団体名	秋田県にかほ市
所属部局	企画調整部総合政策課連携推進班
地域の抱える課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>①本市は、秋田県の日本海側に面し、山形県との県境に位置している。再エネ設備容量が、市内電気使用量の約 80%、25 万 7 千 MWh の導入があり、特に陸上風力発電は、風況が良いため、市内電気使用量の約 58%、18 万 5 千 MWh の導入が進んでいる。さらに今後は、洋上風力発電の進展が見込まれている。しかし現状は、域内で発電された再エネ電力のすべてが、域外に流出している状況である。</p> <p>また、本市は製造業が盛んで、市内における温室効果ガス排出量の半分が、製造業や関連業種からの排出とされている。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>②公共施設へ再エネ発電施設の導入が進んでいない。避難所でもある公共施設の老朽化が進んでおり、屋根置き太陽光発電施設設置を検討するが、防水や耐久工事の財源がなく、大部分の公共施設への導入が進んでいない。避難所に指定された公共施設の防災機能のレジリエンス向上を図るため、太陽光発電施設や蓄電池の導入を図りたい。</p> <p>③冬場は道路に防風柵、防雪柵が設置され、通年で設置している箇所もある。垂直型太陽光パネルやペロブスカイト型の太陽光パネル、風況を活かした小型風力など、冬場の生活のしづらさをエネルギーなどに転換し、道路の融雪電力とするような仕組みが欲しい。</p> <p>【キーワード】</p> <p># 風力発電</p> <p># 洋上風力発電</p> <p># マイクログリッド</p>

	<p># 域内経済循環</p> <p># レジリエンス向上</p> <p># 燃料費高騰</p> <p># ヒートショック</p> <p># 断熱</p> <p># 防災</p> <p># 垂直型太陽光パネル</p> <p># ペロブスカイト</p> <p># エネルギーの転換</p> <p># 秋田の冬は大変</p>
地域のありたい未来	<p>再エネ電力の域内循環により、サプライチェーンの中で選ばれる製造業の後押しをし、電気代を地域内で循環させ、ゼロカーボンシティと経済発展を同時に実現したい。さらに、災害があっても避難所の生活が充実している、そんな地域にしたい。</p>
事業の概要	<p>①域内に再エネ電力を供給する仕組みを作り、エネルギーと経済の地産地消を推進。</p> <p>②公共施設や遊休市有地への再エネ発電設備の導入や蓄電池の普及促進。</p> <p>③課題解決に向けた実証実験などの受入。</p>
企業に求めたい内容	<p>①域内に再エネ電力を供給する仕組みの提案や事業体の設立。</p> <p>②公共施設や遊休市有地への再エネ発電設備の導入や蓄電池の普及促進のための提案。</p> <p>③課題解決に向けた実証実験などの提案。</p>